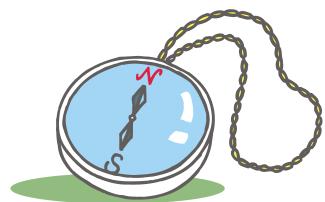


羅針盤



第 26 号

令和7年12月23日(火)

◆ 艱難辛苦（かんなんしんく）を乗り越えて

振り返ってみるとこの2学期は、体育大会や合唱コンクール、文化発表会といった大きな学校行事を無事に終えることができ、それに大きな成果をあげることができたように思います。そして、本日の終業式を無事に迎えることができました。これらすべては、まさしく生徒の皆さん一人ひとりの日ごろからの心がけと、有意義な学校生活を過ごすためのしっかりとした協力体制があったからこそに他なりません。さて、先週の12月15日（月）から始まった学期末懇談会で示された2学期の成績結果は、いかがだったでしょうか。努力を積み重ねたことが結果として報われた人、努力は余りというほどはしなかったけれど好成績を残すことができた人、一生懸命に努力をしたにもかかわらず納得できるような結果ではなかった人、残念ながら努力することを諦めてしまい当然のことながら結果が悪かった人、以上の4つに分けてみたならば、どれに自分があてはまるのかしっかりと振り返ってほしいと思います。努力したけれど結果が伴わなかった人については、努力することを決して諦めないでいてほしいと思います。自分自身が求めるべき結果がすぐにはでなかったとしても、いつか必ず結果として報われる日がやってくるはずです。プラスチックや医薬品といった様々な有機化合物を効率的に作りだす反応法を編み出すことに貢献して、2010年にノーベル化学賞を受賞した根岸英一さんは、受賞について「探求し、実験し続けたこと。」と答えられたそうです。諦めることなく努力し続けることの大切さを教えてくれている言葉ではないかと思います。そこで問題となるのは、努力することを諦めてしまつたために結果が出なかった人ではないでしょうか。学校生活では、まずは、毎日の学習に真面目に取り組むことが基本です。基本となることをおろそかにしていては有意義な学校生活を過ごしたとは言えないはずです。寒さ厳しい冬を乗り越えてこそ暖かな日差しの春が訪れるというものです。難難辛苦（かんなんしんく）を乗り越えた先にこそ思い描いていた結果が待ち受けているはずです。自己の成長を求めるためには、道が厳しくとも切磋琢磨しながらも努力を積み重ねる以外には結果として近道はないはずです。2学期の終わりを向かえた今日の終業式の日に、今一度しっかりと自己の成長を振り返り、自分自身を見つめなおす「節目の日」として、明日から迎える冬休みを有意義に過ごすためにも、焦ることなく、自分の力を信じて、前へ前へと進んでいってほしいと願っています。



明日より冬季休業期間に入ります。新たな年を迎える冬休みではありますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、3学期も引き続き、城陽中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、重ねてよろしくお願ひいたします。 (校長 坂井伸治)

